

資料3

いじめられた児童・いじめた児童に見られるサイン

1 いじめられた児童のサイン

いじめられた児童は自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で児童を観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場面	サイン
登校時 朝の会	<ul style="list-style-type: none">・ 遅刻・欠席が増える。その理由が明確でない。・ 教職員と視線が合わず、うつむいている。・ 体調不良を訴える。・ 提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。・ 担任が教室に入室後、遅れて入室てくる。
授業中	<ul style="list-style-type: none">・ 保健室・トイレに行くようになる。・ 教材等の忘れ物が目立つ。・ 机周りが散乱している。・ 隣りの児童の席が微妙に離れている。・ 教科書・ノートに汚れがある。・ 教職員や児童の発言等に対して、突然個人名が出される。
休み時間等	<ul style="list-style-type: none">・ 用のない場所にいることが多い。・ ふざけ合っているようであるが、表情がさえない。・ 衣服の汚れ等が見られる。・ 一人で過ごしている。
放課後等	<ul style="list-style-type: none">・ 憄てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。・ 持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらをされたりする。

2 いじめた児童のサイン

いじめた児童がいることに気が付いたら、積極的に児童の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

サイン
<ul style="list-style-type: none">・ 教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。・ ある児童にだけ、周囲が異常に気を遣っている。・ 教職員が近づくと、不自然に分散したりする。・ 自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の児童がいる。